



すくすく



附属小学校
生活部だより第10号①
令和5年2月24日

3年ぶりの参集型での開催…第101回愛媛教育研究大会

2月3日（金）に、第101回愛媛教育研究大会（幼稚園・小学校の部）が行われました。今回3年ぶりの参集型の研究大会ということで、私たち教職員も並々ならぬ「思い」と「覚悟」を持って準備に、授業実践に取り組んできました。コロナ禍は未だ収まらない状況でありながらも、県内外から300人余りのご参加をいただき、充実した大会を終えることができました。

保護者の皆様には、当日の交通整理、湯茶の接待、来賓や役員の案内、記録写真の撮影など、様々な場面で大会を支えていただきました。また、愛媛附属小伝統の「おもてなし」の心も参加者にしっかりと伝えていただきました。本当にありがとうございました。

さて、前期研究から今期研究にスイッチして1年目、「子どもが創る『探究的な学び』をデザインする」を研究テーマとして、予測不可能な未来を生き抜く力を養うために、子どもたちが自分たちこそが学びの主役であるという思いを持ち、目を輝かせて「探究的な学び」を経験できる単元・授業づくりに取り組んできました。このような子どもたちの姿を、この1年間の研究の成果として、少しずつではありますがお見せすることができたのではないかと感じています。大会参加者が書いてくださったアンケートの中にも、次のような記述が見られます。

「子どもの目がとにかく生き生きとしていた」「子どもたちが主体となり学習する姿がどの授業でも見られた」「これからも子どもたちが学ぶ楽しさを味わえる授業実践を楽しみにしています」

また、「お昼のコーラス部の演奏、とても素敵でした!」「寒い中、朝からさわやかな挨拶でお出迎えしてくださった児童の皆さん、すばらしいおもてなしの気持ちをありがとうございました」「いつものこととはいえ、公開授業はもとより、運営面に関しても保護者との強い連携が感じられたすばらしい運営でした」など、チーム愛媛附属小へのエールも…。

こうした声を励みにしながら、これからも、研究が子どもの喜びや成長につながるような研究としていくこと、そして生き生きと学ぶ子どもの「生の姿」で愛媛附属小の研究を伝えられることを目指していきたいと思います。今後とも、ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

（研究部長 檜垣 延久）



3年生、がんばっています！（3年部）

3年月組は燃えています。何に燃えているかと言えば、「なわとび」です。縄跳び集会に向けて練習に励んでいます。2学期の持久走練習を通して、「練習は裏切らない」と感じています。それは、縄跳びでも一緒です。体育の授業だけではなく、朝の時間、昼休みも使って練習をしています。いつも色々な遊びの計画を立てる「遊び会社」も今は自主練を呼び掛けています。練習を通して、できなかった技ができるようになり、3月みんなで喜びを分かち合っています。「すくすく」が発行される頃には、縄跳び集会の結果は出ているかもしれませんが、一つでも多くの技ができるように練習頑張ります。

3年花組では、くすのき学習の時間に「3花にここ 道後の“たからもの”広め隊!」という単元の学習をしてきました。道後のすてきな“たからもの”をもっとたくさんの方に広め、道後をもっと好きになってほしい、また来てほしいという思いで取り組んでいます。「からくり時計」や「坊っちゃん団子」「足湯」など自分たちが調べたり、体験したりしたことを、実際に道後商店街で観光客の方に伝えます。2学期に続いて、3学期も伝えるに行く予定です。道後の魅力がもっと広まるように、みんなで頑張るぞ！



3年星組では、新聞をたくさん読んでいます。2学期には、愛媛新聞社の方に来ていただいて、新聞の見出しの工夫を教えてくださいました。新聞を読むだけでなく、投稿にも挑戦しました。国語科で書いた詩や俳句を投稿したところ、たくさんの3星のメンバーの詩や俳句が掲載されました。「今日はだれか新聞に載っているかな。」「今日はこんな記事があったよ。」と毎日楽しそうに新聞を広げている様子が見られます。これからも新聞からたくさんのことを学び、そして新聞を通して発信することを楽しんでほしいと思います。

(3年部 吉岡 舞)



2月参観日にむけて (4年部)

2022年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。メディアでは新年から成人について話題に挙がっているのでご存じの方も多いのではないでしょうか。

4年生は現在、9歳か10歳です。生まれてから成人になるまでのちょうど半分を迎えています。そこで各学級で話し合い、「2分の1成人式」に匹敵するようなイベントを2月の最後の参観日に行うことを計画しました。今回は2月の参観日に向けた各学級の取り組みを紹介します。

月組のテーマは「成長」と「感謝」です。どんな参観日にしたいのか、そのためにどんなことを準備したらよいか、役割分担はどうするか…など、子どもたちが話し合って決めました。これまでの自分の「成長」を見つめ、支えてくれた方々へ「感謝」を伝える参観日にしたいという思いを原動力にして、準備を進めています。

花組は話し合った結果、「成長」をテーマに自分たちで参観日の計画を立てることに決めました。これまでの生活でどんなことが成長できたかを振り返る劇をしたり、できるようになったことをおうちの人の前で披露したりしたいと考えています。意見がまとまらないこともありますが、自分たちの手で一生懸命作り上げようと努力しています。

星組は、この4星での1年間にどのような出来事があり、どのようなところが成長したのか…ここを考え、家族やみんなに伝えようとしています。内容については、学級全体で話し合い、「チームで」「一人一人で」と決まったので、現在各チーム&個々で準備・練習中です。当日、どのような子どもたちの姿が見られるのか…学級担任も楽しみにしています！

各学級、子どもたちの手で創意工夫をしながら準備を進めています。立派にやり遂げ、附属小学校の高学年としての自覚へとつなげ、今後の活動にも主体的に取り組んで欲しいと願っています。

(4年部 木下 理恵子)



相談室より

あつという間に2月も後半となりました。時が経つのは早いからこそ、一日一日を大切に過ごしたいと日々思います。今月も1冊の本をご紹介します。

「図解でわかる 14歳からのストレスと心のケア」(社会応援ネットワーク著 富永良喜監修)

小中学生の子ども達のお話を聴く中で、友達関係の悩みや勉強の悩みについて相談されることが多くあります。この本では、“ストレスとは”という大きな枠でそのような悩みや問題をとらえ、どのように自分をケアし、問題に立ち向かっていくか、どのように考えていくか、たくさんのヒントが書かれています。タイトルは“14歳からの”とつけられていますが、高学年のお子様でも理解できる部分は多くあると思います。特に、これから中学生になり、悩みが複雑になってくる6年生の皆さんには参考になる内容となっています。また、大人が読んでも気づきが得られる箇所もありますので、おすすめです。

(スクールカウンセラー 福井 亜衣)

3月の相談日

14日(火) 13:00~17:00

予約専用電話 090-9451-9693